

困ったときは？

医療・介護についての 質問コーナー



質問

私の母が先月、脳梗塞で倒れて今も入院しています。口から食べられないため、鼻から管が入っていますが、長期になるため先生から胃ろうを進められています。

鼻の管と胃ろうの違いがよくわからないので簡単に教えてください。

※ご質問を受付けています。郵便または
FAXにて編集委員会までお寄せ下さい。
FAX：042-491-9518

回答

脳血管障害や脳変性疾患などのために飲み込むことが困難になった場合の栄養補給の手段として経鼻カテーテルと胃ろうがあります。どちらも胃に直接注入する方法ですが、違いについて説明します。

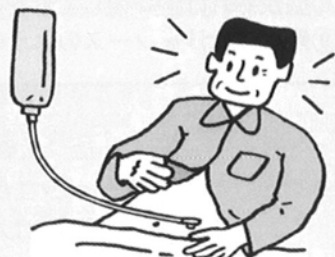
経鼻カテーテルは、鼻から胃へチューブを入れます。方法としては簡易的ですが、欠点は鼻からチューブを通すのに苦痛が伴います。また、チューブはずっと留置しているために喉のあたりの不快感が続きます。そのため自己抜去※される方もいらっしゃいます。



胃ろうの場合は、内視鏡的に胃に小さな穴を開けて胃ろうを造設します。麻酔は局所麻酔です。造設の際は、小手術が必要になるために当院では近隣の病院に一泊二日紹介入院して頂いています。

胃ろうでは経鼻カテーテルに比べて誤嚥による肺炎は少ないと言われています。ただし、手術などで胃切除を行っている人は胃ろうの対象にはなりません。

一般的に経鼻カテーテルは、長期の栄養管理としては向いていないと言われているため、老人保健施設などでは経鼻カテーテルは受入れ困難と言われているのが現状です。



※自己抜去…自分で管を抜いてしまう行為